

# 市長のあつあつ情報

No.11

## 有害鳥獣駆除とおいしい未来

本市では、有害鳥獣被害対策に注力しておりますが、その繁殖力に対応策が追い付かない状況であります。茂原市においても、先日市内で猪に襲われるといった事故も発生してしまい、被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。

現在、市内にあります処理施設「ジビエ工房茂原」(ALSOOK千葉株)にご協力いただき、捕獲した有害鳥獣の肉をジビエとして提供するまでの一連の業務を行っていただいておりますが、食肉とする場合には放射性物質検査の義務付けがあり、現在も猪等の検体の全頭検査を行っているところです。この検査に相当量の肉を使用するため、市販に回せる食肉が少ないという現状もあり、コストと合わない部分も多く出ております。

一方で、ジビエ工房茂原

や市内業者により加工されたジビエは、市内外でも大変好評であり、4月に都内レストランで開催された茂原市のジビエと旬の里ねぎぼうずの農産物を使用したディナーイベントにおいて、参加者に茂原の魅力を丸ごと味わっていただきました。

また、現在開催されている大阪・関西万博の農林水産省ブースにおいて、先月9日に本市のジビエ試食会が催され、そこに本市職員も派遣してPR活動を行い、来場者からは「おいしい」という声がたくさん聞かれたとのことでした。

これからの課題としては、放射性物質検査の解除を早急に図り、販売できる食肉のボリュームをしっかりと確保して収益に結びつけるなど、有害鳥獣被害の軽減とジビエの販売といった良い仕組みを構築することが重要だと考えてい



茂原市長 いちはら あつし 淳

### 「今月の1枚」



ます。また最近では、市街地への出没が多く見受けられる中、民にかかりにくいことや、市民への危険性により罠の設置場所が制限されること、また、今回の法改正で猟銃による駆除要件が緩和されたことも考慮し、猟友会の方々にも協力をお願いしていく必要があります。

最後に、皆さんも機会がありましたら地元のジビエ、ぜひ味わってみてください。